

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名 (Road Improvement), 事業区分 (New/Continue), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy Framework), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overview of the project) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, methods, and procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends for ①手段 (Means), ②対象 (Targets), and ③意図 (Intentions) across 28, 29, 30, 31, and 32 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (costs) from 28th to 30th fiscal years, categorized by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel costs.

Table comparing actual expenses for 29th fiscal year and budgeted expenses for 30th fiscal year, with a breakdown of various cost items like materials and labor.

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing the implementation content for 30th, 31st, and 32nd fiscal years, including specific road improvement and maintenance tasks.

事務事業名	道路改良事業	事務事業No.	50301000369	所属課	建設課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・開始時期は不明であるが、車の普及等により地区から道路改良の陳情書が提出されるようになり事業が開始された。しかし、改良率及び舗装率は年々向上しているが、市民の満足度は依然として低い状況である。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・早期整備に対する要望が多い。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う	コスト面を改善するために、排水整備工事や舗装工事などは、測量設計、積算業務などを委託せずに自前にて処理することにより、委託費を削減する。茨城県建設技術公社などを活用し、常に安価な資材や新しい工法の情報を収集し、現場に反映させる。
---------	--

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	一般の生活道路には狭路で危険箇所が多い路線があることから、この事業を行うことによって整備・改善がなされ市民生活の利便性、さらには、安全確保が向上するため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民の交通機能等の役割を果たす重要なインフラ整備であり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	道路改良を毎年度実施し、改良率を向上させている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	安全性、快適性の向上を図ることが難しくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	道路整備の類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	職員で可能な限り測量及び設計積算を実施することにより、委託費を削減する余地がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	整備計画や要望に基づき、地区のバランス等を考慮し整備している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	道路整備に伴う地元説明会、測量、設計、積算、工事発注を計画的に実施し、道路改良率が向上した。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>